

こんにちは。

新メカニズム情報プラットフォーム事務局です。

◇トピックス◇

■□ イベント・セミナー情報

□ UNFCCC 第 42 回実施に関する補助機関会合 (SBI42)、科学的・技術的な助言に関する補助機関会合 (SBSTA42)、ダーバン・プラットフォーム特別作業部会 (ADP2-9) (ドイツ・ボン)

→サイドイベントの開催について (OECC)

■□ 関連ニュース

□ 平成 27 年度二国間クレジット制度案件組成事業 (JCM PS) の公募について (GEC)
平成 27 年度二国間クレジット制度に係る実現可能性調査 (JCM FS) 委託業務の公募について (GEC)

→説明会資料を掲載しました。

■□ 政府機関の報道発表

□ 電気事業分野における地球温暖化対策の枠組みに関するヒアリングの開催について (第 2 回) (お知らせ) (環境省)

◆UNFCCC 第 42 回実施に関する補助機関会合 (SBI42)、科学的・技術的な助言に関する補助機関会合 (SBSTA42)、ダーバン・プラットフォーム特別作業部会 (ADP2-9) (ドイツ・ボン)



→サイドイベントの開催について (OECC)

環境省、(公財)地球環境センター (GEC) 及び(一社)海外環境協力センター (OECC) は、2015 年 6 月 1 日~11 日にドイツ・ボンで開催される国連気候変動枠組条約第 42 回補助機関会合 (SB42) のサイドイベントとして、「二国間クレジット制度 (JCM) プロジェクト実施に係る進捗 (The Joint Crediting Mechanism (JCM):Results and current progress of project implementations)」を開催します。

JCM は、COP18 における決定事項に基づく「様々なアプローチ (various approaches)」のひとつとして日本と相手国とが共同で開発、実施しています。本サイドイベントでは、JCM

署名国よりインドネシア、パラオ、ベトナム政府をパネリストに迎え JCM 実施に係る進捗を報告するとともに、国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) 事務局とタイ政府関係者を招待し、JCM に期待されることを議論します。

日時：6月6日(土) 11:30-13:00

場所：Bonn II (40) (World Conference Center Bonn)

<アジェンダ>

[イントロダクション]

ファシリテーター：(一社) 海外環境協力センター (OECC) 主席研究員 加藤 真 氏

[プレゼンテーション・セッション (11:30-11:45)]

「JCM の最新動向」

日本国環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 市場メカニズム室 国際企画官 水野 勇史 氏

「UNFCCC 会合における市場メカニズムに係る議論の最新動向」

UNFCCC 事務局 炭素市場戦略マネージャー Mr. Andrew Howard

[ディスカッション・セッション (11:45-12:45)]

「JCM プロジェクトの進展と将来への展望」

ファシリテーター：OECC 加藤 真 氏

討議者：

- ・ UNFCCC 事務局 Mr. Andrew Howard
- ・ 日本国環境省 水野 勇史 氏
- ・ インドネシア JCM 事務局 Mr. Dicky Edwin Hindarto
- ・ パラオ首相府 Mr. Xavier E. Matsutaro
- ・ ベトナム天然資源環境省 Mr. Le Ngoc Tuan
- ・ タイ温室効果ガス管理機構 (TGO) Dr. Jakkanit Kananurak
- ・ GEC 山本 公一 氏

[質疑応答 (12:45-13:00)]

発表資料はこちらからダウンロード可能です。(英文) ※後日、追加掲載予定。

http://www.mmechanisms.org/e/info/event/details_150606SB42sideevent.html

-
- ◆平成 27 年度二国間クレジット制度案件組成事業（JCM PS）の公募について（GEC）◆
 - ◆平成 27 年度二国間クレジット制度に係る実現可能性調査（JCM FS）委託業務の公募について（GEC）◆

平成 27 年 5 月 29 日（金）に平成 27 年度二国間クレジット制度案件組成事業（JCM PS）ならびに平成 27 年度二国間クレジット制度に係る実現可能性調査（JCM FS）委託業務の公募説明会を開催いたしました。

説明会資料を下記サイトで公開いたしましたので、ご覧ください。
また、一部応募様式の差し替えも行いました。

JCM PS

<http://gec.jp/jcm/jp/kobo/ps150526.html>

JCM FS

<http://gec.jp/jcm/jp/kobo/fs150526.html>

<本件窓口>

公益財団法人 地球環境センター

東京事務所 調査事業グループ

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷 3 丁目 19 番 4 号 本郷大関ビル 4 階

TEL : 03-6801-8860

E-mail : cdm-fs@gec.jp

-
- ◆電気事業分野における地球温暖化対策の枠組みに関するヒアリングの開催について（第 2 回）（お知らせ）（環境省）◆

2050 年の温室効果ガス排出量 80%削減など、中長期の地球温暖化対策については、長期にわたってすべての主体が、あらゆる部門で持続的に対策に取り組んでいく必要があります。特に、電力部門の排出量は、現在、我が国全体の約 4 割を占める最大の排出源であり、電力部門の低炭素化を進めることは、温室効果ガス排出の大幅削減のための最も重要な対策の一つです。

このため、電力業界に対して、国の目標と統合的な全体の自主的な枠組みの構築を促し、検討の参考としていただくために、環境省としても、そのあり方について検討しているところです。今般、その検討の一環として、環境政策の有識者等から、ご意見をお伺いするものです。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/101056.html>

日時：平成27年6月5日（金） 9:30～11:00

場所：都道府県会館 402 会議室

東京都千代田区平河町 2-6-3

<http://www.tkai.jp/>

その他：会議は公開で行います。傍聴を御希望の方は、件名に「電気事業分野における地球温暖化対策の枠組みに関するヒアリング傍聴希望」と記入し、平成27年6月3日（水）12時までに以下の連絡先に電子メール又は FAX のいずれかにてお申し込み下さい。傍聴登録締切り後、希望者多数の場合は抽選し、ご連絡します。

<連絡先>

環境省地球環境局地球温暖化対策課 担当：飯野・仁科

T E L : 03-3581-3351 (内線 6737・6781)

直通 : 03-5521-8354

F A X : 03-3580-1382

電子メール : chikyu-ondanka@env.go.jp

◆メールマガジン・その他問い合わせは、事務局までメールにてご連絡ください。

info@mmechanisms.org

◆メール配信停止ご希望の方は、以下のページの「配信停止」より手続きください。

<http://www.mmechanisms.org/newsletter/index.html>

■□発行・編集□■

新メカニズム情報プラットフォーム事務局

一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

2014年6月2日より、下記住所に移転しました

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33 NP 御成門ビル 3 階

URL: <http://www.mmechanisms.org> / e-mail: info@mmechanisms.org

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。